

津島高等学校人権だより

津高人権委員会

ひゅーまんらいつ



令和2年度第8号

生きているだけで、素晴らしい



令和2年度津島高等学校人権・同和教育講演会 「私たちの感想」より

講師 塩見 志満子 さん (のらねこ学館館長)

演題 「厳しい道」

私は、塩見さんのお話を聞いて、自分を信じ、仲間と助け合うことの大切さが分かりました。『もう、しんどい、つらい、我慢できないと思ったら、隣にいる仲間の力を借りればいい。』その言葉を聞いた時に、私の周りには頼れる人がたくさんいて、幸せなんだと思いました。そして私も周りの人に頼りにされる人になりたいです。

この講演で一番心に残ったのは『どんなにつらいことがあっても、自分なら乗り越えられると自分を信じられる強い人間になってください。』という言葉です。私は自分を信じることは難しいことだと思っています。でも、難しいと思っても勇気を出して一歩踏み出してみようと思いました。

このように講演を聞いて、私にはできないと思っても「もしかしたらできるかもしれない。」と自分を信じて頑張ることが大切だと思いました。そして『不可能を可能にする』という言葉聞いてとても心に響き、大きな力を得ました。これからは、今日の講演で塩見さんが言っていた、『夢を与えられる大人』に私もなりたいたいと考えています。そして自分らしく、仲間と助け合って生きていきたいと思っています。(1年生)

私は、学校へ行くことは高校でさえも義務のように感じていて、進学するのが当たり前だという日々を送ってきました。けれど、今日の講演を聞いて、こんなありふれた、それでも幸せな毎日があることをありがたいと思いました。「勉強をしなくっちゃ」とか「何もかも頑張らなきゃ」と思うことがあるけれど、『それが全てではない』と聞いてなんだかずっと心が軽くなったような気がしました。ただ生きて、食べて、暮らしているだけでもすごいことなのだと感じました。これからの人生で、いろんな困難にあった時でも、悩めることすら幸せだと、生きているだけで素晴らしいと、生きることはありがたいことを忘れないようにしたいです。

私は、人が生きていく上で争いや死を逃れることはできないと思っています。それでも、広い心で接したり、相手を受け入れたりすることが、自然にできる世の中に私たちがしていけたら、みんなが幸せになれると思いました。特に今年は、新型コロナウイルス感染症の拡大によって起こっている目をそむけたくなるようなニュースを聞いて、生きづらさを感じていました。でも、そのような中であっても、私は、将来愛媛で社会に貢献できる大人になりたいと思っています。私は、だれかが困っていたら自分から話しかけたり、行動したりすることができません。でも、その分、だれかを責めたりせず、助けを求められたら快く協力し優しく接することのできる、芯の強い大人になりたいと強く思いました。(3年生)

(3年生)

みなさん、素晴らしい感想をありがとうございました。
このように、自分自身の辛く苦しい経験を他人に話すという活動は、勇気が必要であることに、みなさんはしっかりと気付いてくれていました。心強い思いを持つことができました。

そして世界はきっとひとつになる…

Imagine (イマジン)

Imagine there's no Heaven
It's easy if you try
No Hell below us
Above us only sky
Imagine all the people
Living for today...

想像してごらん 天国なんてないんだと
ほら簡単でしょう？
地面の下に地獄なんてないし
僕たちの上にはただ空があるだけ
さあ、想像してごらん
みんながただ今を生きているだけって

Imagine there's no countries
It isn't hard to do
Nothing to kill or die for
And no religion too
Imagine all the people
Living life in peace

想像してごらん国なんてないんだと
そんなに難しいことじゃないでしょう？
殺す理由も死ぬ理由もなく
そして宗教もない
さあ、想像してごらん みんなが
ただ、平和に生きているって

You may say I'm a dreamer
But I'm not the only one
I hope someday you'll join us
And the world will be as one

僕のことを夢想家だというかもしれないね
でも、僕一人じゃないはず
いつかあなたもみんな仲間になって
きっと世界はひとつになるんだ

Imagine no possessions
I wonder if you can
No need for greed or hunger
A brotherhood of man
Imagine all the people
Sharing all the world

想像してごらん 何も所有しないって
あなたなら出来ると思うよ
欲張ったり飢えることもない
人はみんな兄弟なんだって
想像してごらん みんなが
世界を分かち合うんだって

You may say I'm a dreamer
But I'm not the only one
I hope someday you'll join us
And the world will live as one

僕のことを夢想家だと言うかもしれないね
でも僕一人じゃないはず
いつかあなたもみんな仲間になって
そして世界はきっとひとつになるんだ

『イマジン』は 1970 年に発表された、ジョン・レノンの楽曲です。ジョン・レノンは、Beatles というイギリスの有名なロックバンドのメンバーの一人で 1960 年代に世界中で絶大な人気を得て活躍しました。イマジンは、そのジョンがソロで活動を始めてから発表した曲です。

この曲の歌詞は、国や宗教や所有欲によって起こる対立や憎悪を無意味なものとし、曲を聴く人自身もこの曲の世界を思い描き共有すれば世界は変わる、と訴えかけています。人類愛や平和を語りかける歌として長年多くの人々に愛唱されてきました。

今年は、ジョンが熱狂的なファンの凶弾に倒れてから没後 40 年の節目の年となります。この 1 年間新型コロナウイルス感染症の影響で不安な日々を過ごしてきた私たちにとって、この歌詞の言葉は意味深いものを感じられるのではないのでしょうか。

シトラスリボン制作
御協力ありがとうございました！！



できた！！シトラスリボン



人権だより「ひゅーまんらいふ」についての感想をお寄せください！！

Blank rectangular area for writing comments.

() 年 () 組 () 番 氏名 ()



